

特集

ナースが患者さんの 性に向き合うとき

開放的になったとは言え、わが国ではまだまだ性生活についておおっぴらに話す機会は多くありません。ですから、自らの性の悩みを相談したくても、誰にすればいいのかを決めるのはなかなか難しいのが現実です。ただ、患者さんの場合、誰に相談するかと言うと、ナースが一番ではないでしょうか。患者さんから性に関する相談を受けるということは、性に対する自らの姿勢が問われることでもあります。それでもナースとして受け答えできるには何を学び、どう接すればいいのか、カウンセリングという形での対応も含め、考えてみたいと思います。

座談会：性の悩みをタブーにしないー現場で経験したさまざまな事例を語る

高橋都・稲葉育代・小島真奈美・田代美貴

私たちは患者さんの性の悩みにどう向き合っているか

乳がん看護における性の視点 小野菊代

不妊症看護における性の視点 森明子

セックスカウンセリングの必要性と可能性 金子和子

招待席

虐待対策は「医療のミッション」
看護師に学んでほしい臨床法医学の視点
佐藤喜宣さん

鼎談

身体性の教育
矛盾に耐える力を涵養する

甲野善紀×島崎徹×内田樹

編・集・後・記

●たしかワタ〇だったと思いますが、とある飲食チェーンで各店舗の従業員のお客様対応を抜き打ちでチェック&指導するクレーム担当官の様子がテレビで紹介されていました。その厳しさに感心する一方で、若干の違和感もありました。日ごろからピリピリムードの指導を受けている店員さんが「温かでフレンドリーなサービス」を提供できるのかな、と／行きつけの韓国料理屋にはものすごくしっかりした店員さんがいます。彼のすごいところは、「イライラ」をまったく見せないところ。客にはにこやかでも厨房で怒鳴っている店員をよく見かけますが、ああいうのって実は客としても気分がよいものじゃありませんよね／看護学雑誌も72巻目を迎え、衣替えをいたしました。表紙イラストは宮沢賢治の絵本でも有名な小林敏也さん。デザインだけでなく、内容面でもこれまで以上に積極的に、さまざまな企画をご提供したいと思います。【鳥居】

●この号が発行される頃は、街はすっかり赤と緑に覆われていることですが、これを書いている段階ではやっと黒とオレンジが姿を消したばかりで、まだ過剰な飾りつけもなく、穏やかな印象です。11月にはまだ、『〇〇ウォーカー』な人々がデートの言い訳にしたり、消費・散財したりできるイベントが、発見されていないことでしょうか。あくまで今のところは、ですが、それにしても、毎月毎月イベントを「押さえてお」かなくてはいけないかのように行動する人々を見ていると、昔流行った『日本全国酒飲み音頭』を思い出します。「1月は正月で酒が飲めるぞおー♪」というやつです。

で、今号はリニューアル第一号ではありますが、特にイベント化することなく、あくまで爾々と進んでいこうと思います。【大野】

看護学雑誌 第72巻第1号 2008年1月1日発行(毎月1回発行)

発行／株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体 1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先／(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・第69巻以前のバックナンバーのご注文先／(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当／鳥居・大野) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。